



TITLE:

「京都大学附属図書館における電子ファイリングシステム」報告書作成

AUTHOR(S):

CITATION:

「京都大学附属図書館における電子ファイリングシステム」報告書作成. 静脩 1992, 28(4): 10-10

ISSUE DATE:

1992-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37134>

RIGHT:

歩いて通いました。駅の改札口まで1分の宿にした意味が半減です。立ち食いそばのつゆはからくてまずいし。電話ボックスに12の言語で「電話機

を壊すと逮捕される」旨の警告がかかげられ、飲食店の従業員に外国人労働者が目だつのはいかにも東京だと思いました。



主題別研究集会の開催

平成3年度 近畿地区国公立大学図書館競技会の標記研修会が1月31日（金）の午後、本学附属図書館のAVホールで開催されました。

今回のテーマは「ILLシステム運用上の諸問題について」で、4月のILLシステム運用開始を前に、開発システムの概要及び構築されたシステムについて、更に理解を深めるとともに、実例を検証して、運用開始までに解決すべき問題点を明らかにすることでありました。

プログラムは、京都大学西田館長の開会の挨拶

に続いて、学術情報センター宮澤彰教授により「NACISIS-ILLシステムについて」と題して開発の考え方とシステムの概要についての講演があり、休憩を挟んで、「ILLローカルシステムの開発」について2つの報告、“ILLシステムオペレーション”、質疑応答ののち、京都大学吉岡事務部長の開会の挨拶があり終了しました。

なお、本研究集会は、近畿北部地区国立大学図書館機械化連絡委員会の共催で行われ、26大学、101名の参加がありました。

以上



附属図書館長の交代

西田龍雄館長は、平成4年3月末をもって定年退官となり、後任館長人選について、総長から商議会諮問が行われた。

「京都大学附属図書館長候補者選考規程」に基づき、2月28日開催の商議会で候補者の選考が行われ、総長に答申される予定である。

後任者の任期は、平成4年4月から3ヵ年となっている。

「京都大学附属図書館における電子ファインディングシステム」報告書作成

平成3年度 学内特別研究経費で附属図書館が実施した研究結果の報告書を作成、年度内に内外の関係者に配布の予定である。

附属図書館事務部情報サービス課が配布の窓口となり、希望者の受付を行う予定。